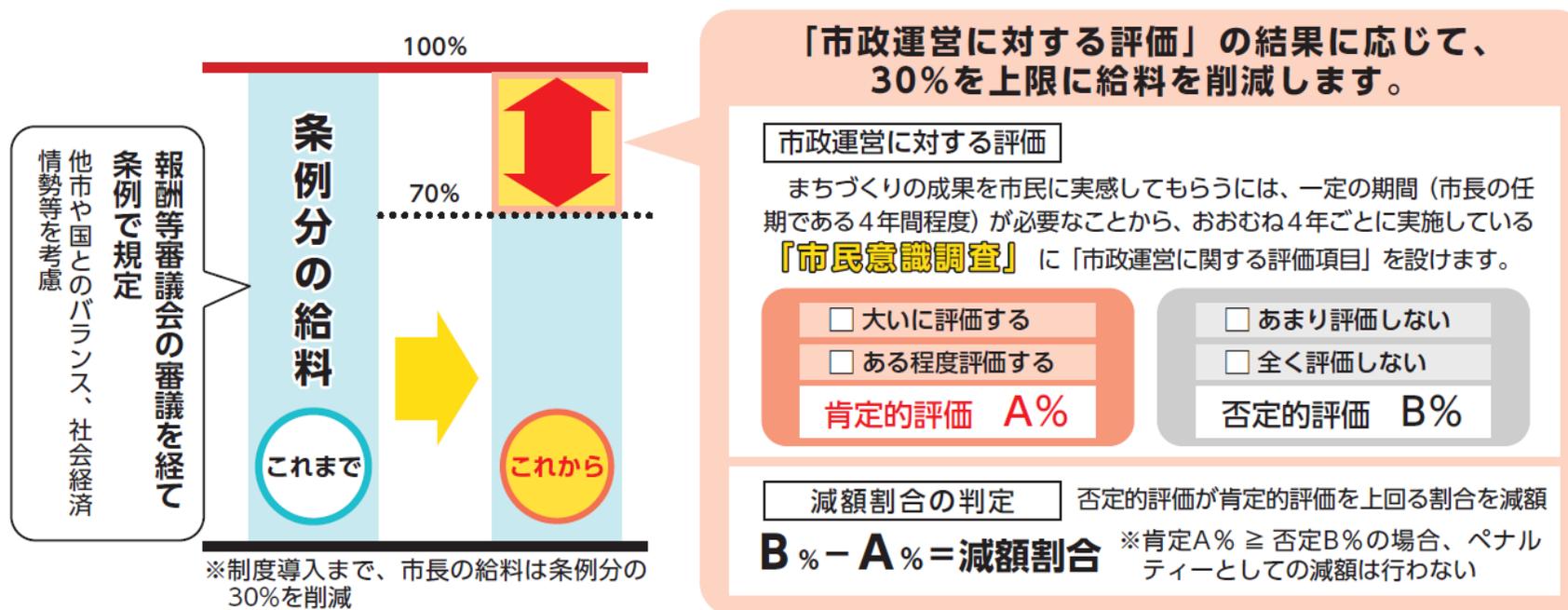


【資料1】業績連動型報酬の導入事例

①寝屋川市（市民評価連動型給料）

- ・目的 特別職の「経営責任」を明確化するとともに、市民の「市政への関心と納得感」を高めること
- ・対象 市長、副市長、教育長
- ・仕組み



※これまで本制度に基づいた減額実績はなし。

②つくば市（市長退職手当への評価反映）

- ・対象 市長
- ・仕組み

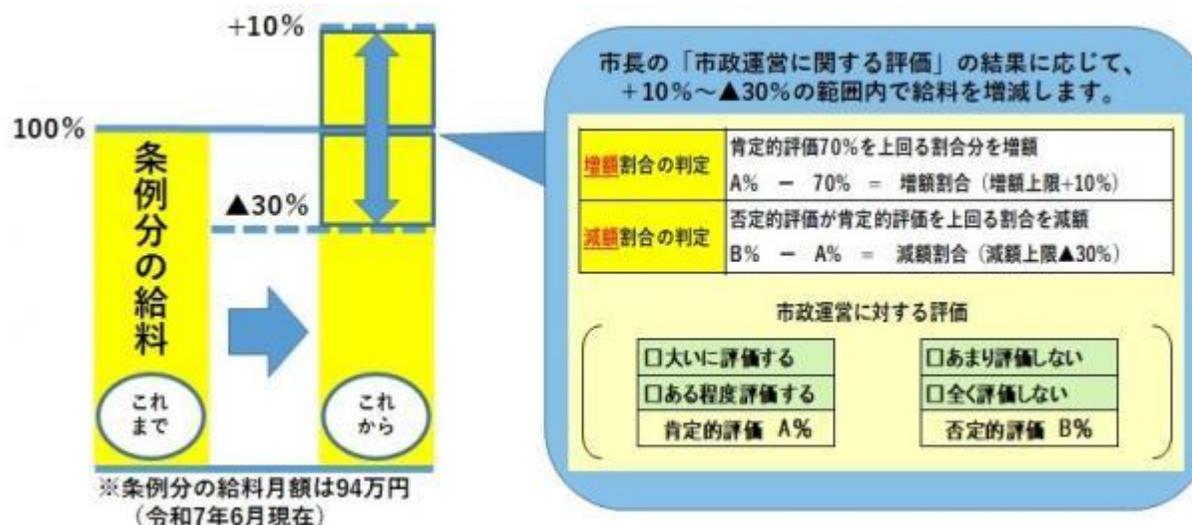
マイナンバーを使ったアプリにより、市長公約の進捗と実績を0～100点（10点刻み）の点数で市民評価された結果を退職手当の計算に反映させるもの。

- ・退職手当計算方法 給料月額（927,000円）×市民評価率×22（勤続期間年数に応じた支給率）
仮に市民評価率が100%の場合は約2,100万円

※実際の評価では、市民評価率が0.627となり、退職手当は約1,278万円に減額となっている。

③箕面市（市民評価連動型給与制度）

- ・対象 市長
- ・仕組み



※市民満足度アンケートは2年に1回実施。令和7年度実施の結果、市長給料は10%増額が決定（R8.1適用）

※本制度導入に伴い、市長退職手当を廃止（財源確保のため）